



F.A.D.S

FUJIKI ARCHITECTURAL DESIGN STUDIO

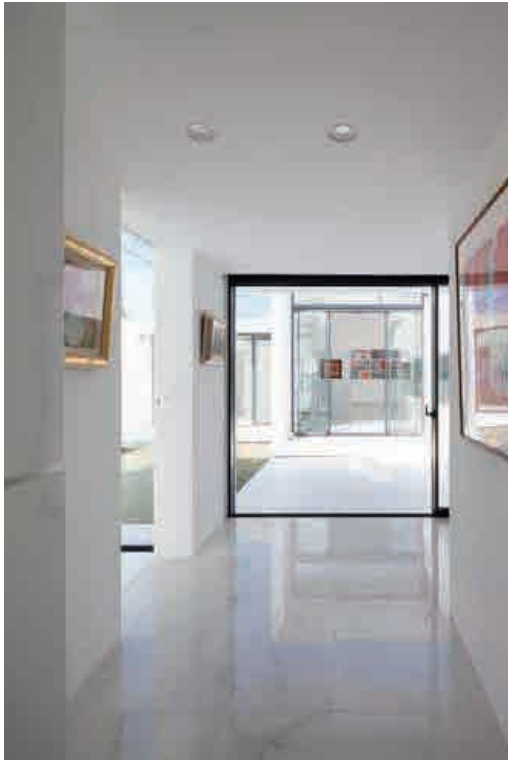
お気に入りの絵画で彩る、
美術館のような家

現代美術館の家 福井県



「美術館のような住宅を建てたい。」という、絵を描く事とレコード鑑賞が趣味の建築主のための住宅です。（この他にも、料理やピアノ演奏もご趣味をお持ちです。）

それぞれの空間に飾られた所蔵作品を見て行くと、まるで美術館の展示室のように住宅を一筆書きで巡ることがができます。また、アトリエだけでなく、庭でも絵を描きたいというクライアントの要望に沿って、アトリエから直接外に出られるような位置に中庭（南庭）を設けました。外部からの視線を遮りたいという要望を満たしながら、風や光が抜け、シックエンス（連続的な部屋のつながり）と重層性のある空間構成になっています。



上／キッチンから見たリビング・ダイニング。その奥には北庭が見える。
右／中庭の景観。下／玄関からつづくエントランス・ギャラリー。中庭を介してリビング・ルームが見える。



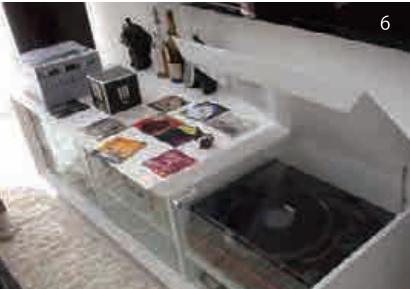
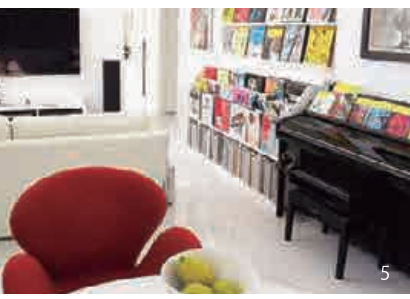
日本建築学会から「採光・通風に優れ居心地が良い住宅。文字どおり美術館の中にいるような印象を創出する潇洒な優作である」という高い評価を受けた「現代美術館の家」。

イタリア「A' Design Award 2015-2016」建築部門金賞受賞、「ふくい建築賞2016」住宅部門優秀賞受賞、日本建築学会「作品選集2017」選定



リビング・ダイニングの内観：

天井の高さは、100号の絵を飾ることのできる壁の大きさをふまえて決定した。壁の仕上げおよび下地は、季節によって飾る絵を容易に模様替えできるように、美術館の展示壁と同じ仕様になっている。



1 / リビングからキッチン方向を見る。冬は太陽光による日射熱が床のタイルに蓄熱され室内を暖める。夏は庇が日差しを遮る。伝統的な日本家屋の考え方を生かした設計。2 / 料理好きの施主の要望による、すっきりとした形のアイランド型キッチン。換気扇はカウンターから電動で出てくる。隣に見えるカウンターは多目的な朝食・読書コーナー。3 / 食器にもこだわって、きちんと収納されている。4 / 貴重なレコード・コレクションをアートとして飾れるように棚を設計。5 / ダイニングより、リビングおよび洗面脱衣室方向を見返す。ピアノやレコード棚、壁に掛けられた絵画が見える。6 / オーディオ収納用に設計した家具。レコード・プレーヤー、アンプ、CD用デッキ等が納められている。

家族のような4匹の猫と
ふたりが暮らす家

Sakai-house

東京都世田谷区



右／道路側外観。1階は鉄筋コンクリート造、2階と3階は木造。左／黄色い花を咲かせるツル性のカナディアン・ジャスミンと季節の花々に彩られたバルコニー。隣家の樹木も借景にして、庭の一部に取り込んでいる。



クライアントはグラフィックデザイナーと雑誌編集者のご夫婦で、ともに愛猫家です。敷地購入のために土地の候補を一緒に見て回るところから始めました。

最終的に決まった敷地は、都心のため、狭く法規的な制約が最も厳しい場所でしたが、高い居住性を生み出す工夫をしています。ご夫婦は、ノラ猫4匹を大

切に育てています。そこで、耐久性のある壁紙、猫用の部屋への出入り口設置、トイレスペースの確保など猫たちの為の工夫を随所に施しました。



外を眺めるのが好きな猫たちのために、ソファの背もたれの高さに合わせて窓を設置した。



3階まで吹き抜けた約10畳のリビング。吹き抜けの効果により10畳よりも広く感じる。天井や壁のホワイトと、床や梁の木の素材感をバランス良く組み合わせて、内装を仕上げている。材料を吟味した結果、アレルギー体質のクライアントも快適に生活している。

限られたスペースに
最大の心地良さを
求めて

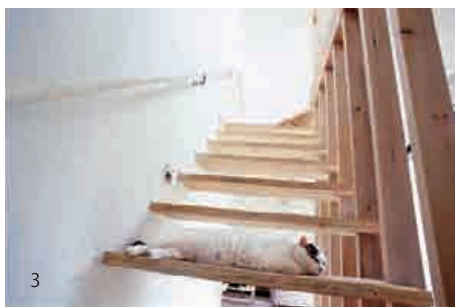
限られた土地面積ですが、中央に階段・廊下・バルコニーのある中庭型の構成は、階段・廊下部分を介して、リビングとダイニングがワンルームのように一体となるプランになっています。

猫たちの為の工夫としては、例えば、猫たちが家具の上に乗った時にちょうど外の景色が眺められるように、窓や家具の高さを決めました。さらさら階段の踊り場も、住宅全体が見渡せて、猫達のお気に入りの場所です。

狭い住宅で庭はありませんが、借景により、どの窓からも緑を目にすることができ、都心に住みながらも自然に囲まれているような住宅です。



5



3



1



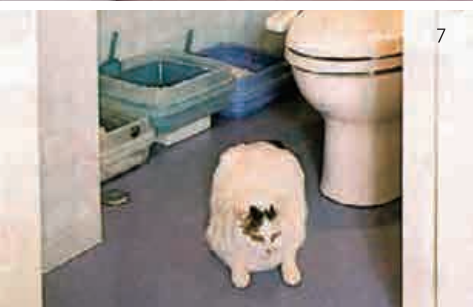
6



4



2



7

1 / 家の中央にある廊下の床に、ドーナツ型の光の輪を落とす縦型ブラインド。2 / 廊下に面した、色とりどりの花で彩られたバルコニー（中庭）。3 / 風が通り抜ける分厚い杉板でできた階段は、猫達のお気に入りの場所。4 / 廊下をはさんで設けられたリビングとダイニングは、ふだんはワンルームのようにひろびろとつながっているが、引き戸扉を閉めればそれぞれ独立した空間にもなるので、夏や冬は省エネルギーな空調を行うことができる。5 / 猫が窓辺でくつろげる高さや幅にしてほしいというクライアントの要望で設計した造作家具。丸い抜き型の引き出し内にオーディオを収納。6 / 扉を閉めていても自由に入出入りできるように、各居室の扉には猫用のドアを設けている。7 / 人間と猫の共同トイレ。猫のトイレを人間と同じ場所にすることで後始末もニオイ対策も万全。

家族みんなで楽器を演奏できる、 舞台のある家

KT-house 福井県福井市



上／模型写真：1枚のプレートが曲げられて、床、壁、屋根になるというコンセプトを示している。中・下／庭に面した南側の外観。床・壁・屋根が切れ目なくつながっている。
左／リビング・ダイニング：写真左側は、舞台のように床レベルが50センチ上げられた楽器の練習スペース。天井の形が変化していることで、吸音材が少ないにもかかわらず、音楽ホールのような優れた音響効果が得られている。

この住宅は、折り曲げられた1枚のコンクリートの板で全体が包まれたような形をしています。

夫婦と子供3人からなる5人の家族がみな、楽器を演奏するという趣味を持っているので、家族がいつも一緒に過ごせるような場所に楽器演奏の練習スペースをつくって欲しいということが、設計に際しての要望でした。

この練習スペースを、楽器の演奏だけでなく、家族が思い思いに時間を過ごせる場所という意味からサロンと名づけ、リビング・ダイニングと空間的に一体となるような位置に計画しました。サロンは床の高さをリビングよりも50センチ上げて舞台のような効果を狙っています。





南に面したリビング全景：
自然光を照明として有効利用している。
乳白色の半透明な材料（中空ポリカーボネートシート）が自然光を拡散し、部屋の奥まで明るいやわらかな光が届く。



3



1



4



2

1 / リビング夜景：開口部の上部に間接照明が仕込まれていて、室内全体がやわらかい光に包まれる。
2 / キッチンの一部に設けられた朝食コーナー。3 / 長女の子供部屋は、ダイニングの真上にあたる。ひな壇は斜めになったコンクリート床の形状を利用してつくられている。4 / 洗面脱衣室：入浴時に必要な衣類やタオルは、全て作り付け家具に収納できるようになっている。また、洗濯乾燥機を洗面カウンターの下にビルトインして、家事動線をコンパクトにした。

プロバンスの薫りの フレンチ・レストラン

La Lavande 神奈川県川崎市高津区



低予算ながら本物に肉薄しようと、プロバンス地方の典型的な窓や外壁のデザインを取り入れ、材料や塗装方法などを工夫した。

物件探しから完成まで

一緒に取り組んだ

店づくり

ラベンダーを意味する「Lavande (ラ・ラヴァンド)」というお店は、プロバンス(マルセイユ)出身のフランス人シェフと日本人女性の若いご夫妻のお店です。ミシュラン星付きレストランや日本の有名なフレンチレストランで腕を磨いたオーナーシェフが、その経験を活かして、プロバンス料理を軸に魅力的なフランス料理をリーズナブルな価格で提供するための店です。

本場フランス人シェフのお店に相応しい、食事や会話をゆっくりと楽しめる店づくりを目指しました。



窓辺には店名の由来ともなっているラベンダーの鉢植え。



プロバンス地方特有の「はちみつ色の壁」と
テラコッタの床。
正面の赤と黄色の旗はプロバンスの地方旗。
壁の絵はオーナーの叔父の作品。

私たちは物件探しから一緒に取り組みました。かなりの数の物件を見て回り、環境、物件の規模や使い易さ、イメージなど様々な観点からアドバイスをを行いました。設備設計者とともに水道、ガス、電気などの設備チェックを行なった上で、最終的に現在の物件に絞り込みました。

大変厳しい予算のため、ほとんどの金額は設備機器に費やされましたが、プロバンスの薫りのするお店にしたいというご夫妻の要望に応えるため、百年前のアンティークの扉をプロバンスから取り寄せました。それ以外は通常の建材や照明を使って、プロバンス地方を感じる色使いや室内装飾になるよう心がけました。

小さなお店ですが、単なる料理だけではなく、フランス文化の発信地の一つとなっていく事を願いました。



1・2 / 店舗入口の横には店名のサインと窓を設け、窓際にはフランスのレストランのようにメニューをディスプレイした。窓を通してシェフやお店の様子を感じることができる。3・4 / プロバンス地方で使われていた古材扉。風を通す小窓や特徴あるドアノブなど、典型的なプロバンススタイルを有している。室内側のガラス小窓を開けると、アイアンの唐草模様を通して風が通る。5 / ディナーテーブル：テーブルクロスや装飾小物などはオーナーがプロバンス地方で購入したもの。料理のみならず、店作りも本物志向を心がけ、フランスの雰囲気を出している。6 / 洗面所：セミをかたどった陶器はプロバンス地方特有の壁飾り。ハンドソープはプロバンス地方の名産ラベンダーの香り。

市民に親しまれる 交番を目指して

福井駅前交番 福井県福井市



正面外観：写真右側に見えるのは新しくなった福井駅

第14回福井市〔都市景観賞〕

第14回空間デザイン・コンペティション作品例部門〔入選〕

福井駅前交番は、JR福井駅の建て替えに伴う駅前広場整備の一環で、旧交番より約50m北に新築されることになったものです。3つの主要な動線が出会う結節点に位置しているため、新しく生まれ変わろうとしている駅周辺の景観と街角にふさわしいデザインが求められました。

この交番は、

- ① 高層ビルに囲まれても埋没することのない、壁面を際立たせたデザイン
 - ② 旧駅舎のガラスブロックを保存・再利用した設計
 - ③ 暖かみのある照明計画
 - ④ 樹木を植えた植栽計画
- などが優れた点として評価され、「福井市都市景観賞」を受賞しました。



交番の照明には、通常、白色の蛍光灯が多く用いられているが、これらの光は、冷たい印象を与え、近寄りたがいの雰囲気を醸し出してしまふ。この設計では、電球色の光を用いることで、できるだけ暖かみを感じさせるような照明計画を心がけた。



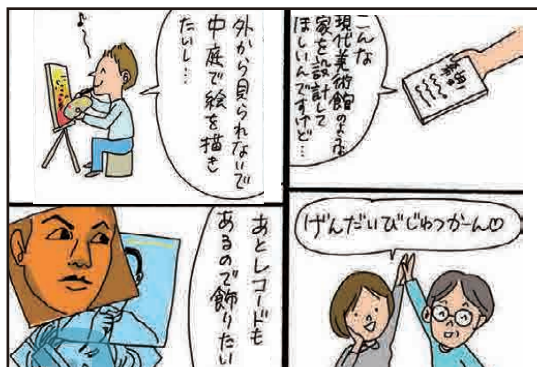
入口部の小さな吹抜を見上げる：
取り壊される前の旧駅舎で使われていたガラスブ
ロックを、入口部の吹抜と女子休憩室の間の光壁
として保存・再利用。
市民になじみの深い旧駅舎の面影を残しつつ、新
たな形で生かす試み。



樹木のある交番：

ともすれば、殺風景で無愛想な印象を与える交番に、樹木を1本植えることに最後までこだわった。実際、この交番について市民から寄せられる問い合わせでは樹木（エゴノキ）に関する質問がとても多い。エゴノキは、春から夏にかけて白く小さな花を咲かせ、ほのかに甘い香りを漂わせる。秋には赤い実をつけて紅葉し、冬には、株立ちならではの木立の美しさを際立たせる。季節ごとに様々な姿をみせるこの1本の樹木は、通りを歩くひとびとにこの交番に対する親しみの気持ちを抱かせ、街に潤いを与えてくれるだろう。

「世界にひとつだけの家」ができるまで



2 ご要望の検討 (無料)

ご要望をお聞きし検討します。現地調査を行い、役所で一般的な法的確認を行います。簡単な図面を作成してご覧いただけます(プレゼンテーション)。ここで示す案はひとつの可能性です。つまり、この段階は、仕事の進め方や相性を見極めていただき、次に進むかどうかご決断の参考にさせていただくためのお試し段階です。完成までの簡単なスケジュールなどもご提示します。遠方の場合や調査費用を要する場合等を除き、1回目のプレゼンテーションまでは無料で行います。



1 ご相談 (無料)

建築に関する事で分からない事は何でも相談ください。宅建士、福祉住環境コーディネーターの資格も有しておりますので、幅広く対応することができます。新築、改修(リフォーム、リノベーション)をはじめ、土地選定や既存住宅の用途変更、介護に関わる悩みなど建築に関する様々なご相談にアドバイスいたします。

初期的なご相談は無料で対応させていただいております。



4 実施設計

基本設計で合意ができましたら、実施設計段階に移行します。より詳細な設計を行い、工事ができる図面を作成していきます。ご要望を伺い、コストを見極めながら、具体的な製品、素材、色などを決めていきます。

約2~6ヶ月程度です。(用途や規模による)

※ 素材や色、製品については施工段階でも確認をいたします。工事に支障がない範囲で、変更することは可能です。



3 設計契約・基本設計

弊社にご依頼いただけるようであれば、設計契約をいたします。契約は通常、設計業務と現場監理業務を含めたものです。お引き渡しまで責任をもって業務に当たります。

さらに詳細なご要望をお聞きして、設計内容を実現可能な案にしていきます。模型やスケッチなどをご提示しながら配置や間取りの構成、全体の雰囲気などを検討し、ご納得のいただけるまで案を作成します。

約2~6ヶ月程度です。(用途や規模による)

工務店やハウスメーカーに依頼するのと設計事務所に依頼するのでは、大きく違う点があります。一番の違いは、見積もりや工事の進め方が適正かどうかを、利害関係のない第三者（設計事務所）がクライアントの代理としてチェックするという点です。安心して、大切な住宅造りをお任せ下さい。



6 工事契約・現場監理

ご予算内におさまるように最終的な調整を行います。（数量や金額の見直し、設計変更等）金額が確定したら、弊社立ち会いにより、クライアントと施工業者間の工事契約を行います。クライアントにかわり、設計図通りに施工が行われているかチェックします。施工者としがらみがないので、厳しい目で検査する事ができます。施工業者と定期的（1週～10日に1度）に打合せを行い、現場を確認します。随時、クライアントにご報告をし、問題が発生した際も速やかに対処しご報告します。



5 見積もりの比較と精査

実施設計図が完成した後、1社～複数者の施工業者を選定して見積もり依頼をします。

計画内容に応じて物件ごとに適切な施工業者を選定するので、特定の施工業者とのつながりはありません。

また、提出された見積もりは、単に価格のみで比較するのではなく、内容や姿勢なども含めて精査します。

最終的にクライアントのご意見を伺って施工業者を選定いたします。1.5ヶ月～2ヶ月程度です。（用途や規模による）



4 設計料

用途や規模によって設計料は異なりますが、住宅の場合、通常構造設計費、設備設計費、現場監理費を含めて、工事費の14%が目安です。

（規模や構造、難しさ、期間などにより10%～18%）


初期的なご相談につきましては、無料でお答えさせていただきます。

事前調査、質の高い設計、アフターフォローまで行います。



7 竣工・アフターケア

工事が完了したら、役所の完了検査を受けます。また、施工会社による最終チェックの後、設計事務所チェックを行います。建主様のチェックで手直しがなければ、お引き渡しとなります。お引き渡しして1年後に建物の点検を行い（1年検査）、不具合等があれば設計者、施工者とも無償で対応します。その後は、メンテナンス、家具造作の追加、増改築なども含め幅広くご相談にのります。（無償～有償）将来に渡って建物を見守りますので、ホームドクターとして末永くおつきあいください。



www.fads-design.jp

F.A.D.S (一級建築士事務所 藤木建築研究室)

設立/1991年

一級建築士事務所/福井県知事登録第い-1002号
一級建築士、宅地建物取引士、福祉住環境コー
ディネーター ※福井と東京の2カ所に事務所あり



〒910-0853
福井市城東4-24-10-2F
☎0776・23・5224
〒214-0005
川崎市多摩区寺尾台
2-8-1-10-201
☎044・954・7956
info@fads-design.jp